



ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

旭川ロータリークラブ 会報

第3352回例会 Vol.70 No.18 2018 (平成30)年11月30日 (金)

プログラム

ゲストスピーチ「60代からの終活」
終活相談ネットワーク北海道 主宰 森 裕子 さん

メニュー

・蟹とアボカドのフラン ・肉のグリル エイギュイエット盛合わせ サラダ仕立て
・ライス ・コーヒー

ロータリー財団月間

出席報告

第3351回例会	第3349回例会
11月16日	11月2日
会 員 74名	会 員 74名
出 席 36名	修正出席 54名
出席率 48.65%	修正出席率 72.97%

RIテーマ

会長 バリー・ラシン

“インスピレーションになろう”

12月7日 (金) 第3350回例会プログラム
年次総会・新入会員卓話 園田直之 会員

これからの予定

12月14日 (金) 年末家族懇親会
12月21日 (金) 会員卓話 小林 亨 会員
12月28日 (金) 休会

11月16日 (金) 第3351回例会の記録

開 会 宣 言 尾田利雄 会場監督

点 鐘 会長 12:30

ロータリーソング斉唱 手に手つないで

- 会 長 鎌田嘉範 ●編 集 IT・会報委員会 ●委員長 宗万脩史 ●担 当 宗万脩史
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●事務局 前野房子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL (0166) 29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL (0166) 25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/> ●Facebook [facebook.com/asahigawaRC/](https://www.facebook.com/asahigawaRC/)



facebook

会長挨拶：鎌田嘉範

皆様こんにちは。本日、ゲストスピーチをしていただきます旭川軟式野球連盟理事長の竹本功様、ようこそいらっしゃいました。後ほどのご講演を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いたします。また、旭川東ロータリークラブ会長山崎知文様、幹事 駒形貞洋様、ようこそいらっしゃいました。山崎様とは同じ年度に幹事を務めさせていただきましたし、また、駒形様は私の会社の役員であり、旭川東ロータリークラブ様とは何かしらご縁を感じております。どうぞ、ごゆっくりお過ごし下さい。

さて、いよいよ、暦のうえでは立冬も過ぎ、冬本番となってまいりましたが、今年は冬の到来が遅く、一昨日ようやく初雪を観測しました。調べて見ますと、旭川では1889年（明治22年）に観測が始まりまして130年、初雪の平年値は10月23日で、最も遅い初雪は、2012年（平成24年）の11月18日であり、2番目が1927年（昭和2年）の11月13日でありましたので、今年の11月14日は観測史上2番目の遅い記録となりました。逆に、一番早い初雪は1898年（明治31年）の10月2日に記録しております。個人的には「雪はね」の重労働がなく大変助かっておりますが、冬物のご商売をなさっている方や雪を売り物にしている方は、今か今かと待ち望んでおりましたので、やはり降るべき時には降っていただければと思っているところでございます。

さて、例年この時期になりますと流行語大賞の話題がのぼり、昨年はトップテンに「Jアラート」や「フェイクニュース」などが入り、流行語大賞は「忖度」と「インスタ映え」でありました。今年は11月7日に、候補作が発表され、北海道関係では「ブラックアウト」、カーリングの「そだねー」と「もぐもぐタイム」などがノミネートされました。流行語大賞は12月3日に発表されます。ノミネートはされておませんが、私の中では「平成最後の〇〇」が今年の流行語大賞であります。また、その年の世相を表す「今年の漢字」一文字は、12月12日の漢字の日に発表されます。昨年は、北朝鮮の動向や九州北部豪雨、競馬のキタサンブラックの活躍などで「北」となり

ましたが、今年は記録的な豪雪に、西日本豪雨、大型台風、大阪、北海道における地震、そして、長期停電と災害が多い年でしたので、災害の「災（わざわい）」、アメフトやレスリング界などでのパワハラと、自然の力が猛威を振るったことから「力」、また、かつてない酷暑による熱中症と、サッカーワールドカップでの日本代表の躍進や、全米オープンテニスで、大坂ナオミさんがまさかまさかの優勝に熱狂したことなどから、「熱」などが候補に上がっているようでございます。一般人の公募による多数決で決定しますが、今年の漢字に、何が選ばれるのか、楽しみにしているところでございます。それではお食事にいたします。

委員会報告

菅原康晴ロータリー情報委員長より
炉辺会合のご案内。

ビジター紹介

山崎知文 さん 旭川東RC
(職業分類：婦人科医)
駒形貞洋 さん 旭川東RC
(職業分類：宗教用具販売)

ニコニコボックス

福井 圭 君
誕生日プレゼントを頂きました。ありがとうございます。
青山貴志 君
お誕生日のお祝いをいただき、有難うございました。
仲山昭義 君
妻の誕生日に生花を頂きました。有難うございます。
林 孝幸 君
妻の誕生日、素敵なお花のプレゼント有難うございました。妻もとても喜んでいました。
若井賢治 君
本日活動報告書が無事出来ました。ありがとうございます。

原田隆久 君

過日、北海道歯科医師会より、功労会員顕彰を頂いた^{わけ}ので。その理由を聞くと、本会に長くいたからだって。

メークアップ

11月9日(金)～11月22日(金)迄 敬称略

[11月12日(月) 旭川南へ]

西山 仁・吉田 裕・生駒雅彦・岸井康祐
坂谷英司・須藤良太

[11月14日(水) 旭川北へ]

島 典賢・野崎和彦・濱口勝紀・原田一道
本間雅博・青山貴志・小林秀次・長木克文
中本浩信・吉田 裕・日生下和夫

[11月14日(水) 北海道2500RECへ]

新崎裕一

[11月15日(木) 旭川東北へ]

小林 亨・出口絢一・中川竹志

[11月15日(木) 富良野へ]

小滝達也

[11月16日(金) 札幌幌南へ]

小森林正司郎

[11月19日(月) 旭川南へ]

生駒雅彦・富田 宏・出口絢一

[11月20日(火) 旭川西へ]

中野典一・西山 仁・林 泰志・出口絢一
山内和夫・青山知正

[11月21日(水) 旭川北へ]

出口絢一・青山知正・仲山昭義・林 泰志

[11月22日(木) 旭川東へ]

中野典一・浅井 傑・中本浩信・工藤和繁

[11月22日(木) 旭川Mへ]

林 泰志・富田 宏・熊井恵美

プログラム

ゲストスピーチ

「少年(学童)野球の現状と問題点」

旭川軟式野球連盟 理事長 竹本 功 さん

軟式野球は日本のスポーツ文化として発展してきた。

1. 軟式野球の始まり

1872(明治5)年、アメリカ人教師のウイ



ソン(開成学校:東京大学の前身)や開拓使仮学校(札幌農学校の前身)の教師ベツらが生徒に野球を教えたのが「日本の野球の始まり」である。ルールも、投手はすべて下手投げ、打者は高・中・低を指定して、指定した高さ以外はすべてボールであった。

1894(明治27)年、中馬庚が「一高野球史」で“野球”と記したのが始まりという説が有力である。一方、俳人の正岡子規という説もある。「Ball in the field」は、庭でする「庭球」、野原でする「野球」である。

「春風や まりを投げたき 草の原」

この句を歌った正岡子規は、幼名「升(のぼる)」をもじって「野球(のぼーる)」という俳号をつくってしまうほど、野球に熱中し、打者、走者、四球、直球、飛球などの野球用語を翻訳している。

1948(昭和23)年の文部省次官通達で学童の対外試合禁止となっていたが、1962(昭和37)年に日本体育協会がスポーツ少年団を創設し、全日本軟式野球連盟の協力もあって緩和された。

全日本軟式野球連盟学童登録チーム数の推移を見ると1980(昭和55)年28,115チームから2015(平成27)年12,396チームと半減しており、まさに少子化のあおりを受けている。

2. 指導者の問題

学童スポーツ共通の問題として、勝敗に固執するあまり「スポーツを通じた心身の健全育成」の目的を大きく逸脱した指導者も珍しくない。罵声を浴びせる、心身の事やケガなどに関する知識不足、「失敗から学ばせよう」という姿勢の欠落などが問われている。

3. 選手の健康管理策

全日本軟式野球連盟では、2011(平成23)年、少年・学童部投手の投球制限の措置を講じた。投

手は1人1日1試合（通常7回、特別延長戦の場合は10回まで）の制限をルール化した。

4. 小学生の肩・肘調査

全日本野球協会、日本整形外科学会と運動器の10年・日本協会が共同で、2014年7月～2015年1月まで10,228人を対象に、肩や肘の痛みを経験した小学生選手を調査した。その結果、投手では49.3%、選手全体が36.6%であった。ポジション別では、捕手が40%で、投手と捕手両方の経験選手では56.4%だったと報告された。

北海道新聞（2018年9月26日朝刊）記事で、神戸大学大学院准教授 高田義弘氏は投手の動作解析によると、投手は90球前後で下肢が疲労し、その後、上肢の力で補いながら投球を続けようとする。球数が増えると肩肘の関節の筋力低下率が上昇する。筋肉の損傷が回復するには24～72時間かかり、回復前に筋肉を酷使する連投は肘の靭帯を痛めたり、関節の障害を引き起こすと警告している。

5. 旭川軟式野球連盟学童スポーツ検診

検診は①メディカルチェック（医師）による肘のエコー検査、②フィジカルチェック（理学療法士）の9項目をチェックする。2017年のメディカルチェックでは75人中3人（4%）が肘外側の不整（肘離断性骨軟骨炎）で病院を受診することになった。一方のフィジカルチェック9項目（各項目：3段階評価）では平均値で立位体前屈2.0、しゃがみ2.1などの結果から、下肢後面と上半身前面の筋群の柔軟性が特に低下傾向であった。

6. 保護者の問題

指導者などに対して無理難題を要求したり、選手起用や采配面でのクレーム、勝利至上主義的な要求をするなど様々である。こうした保護者の存在は指導者の行動、思考に少なからず影響を与えており、指導者の意欲を大きく削ぐ原因となる。

保護者の言動例では相手チームの選手に大声で野次を飛ばす、審判の判定に対して大声で批判するなど、子供の教育上好ましくない言動が見受けられる。

7. 指導者・保護者に共通する問題

学童期では技術練習などの「動き」を習得することが得意な年齢であり、持久力や筋力の向上には適さない年代である。「走りこみ」などの持久走、

腕立て伏せなどの筋力トレーニングを課したりすることは最終身長に影響を及ぼすと言われている。

学童期には多くのスポーツに関わることが有益である。一つのスポーツに固執したり専門化に執着すると、将来の技術矯正の幅が狭まると言われている。

一部の指導者には旧態依然としたスポーツ感が存在している。関係者の意識改革が軟式野球の将来を左右する要因になると考える。

点鐘 会長 13:30

炉 辺 会 合

